

大阪市イノベーション促進評議会規則

(目的)

第1条 この規則は、執行機関の附属機関に関する条例（昭和28年大阪市条例第35号）第2条の規定に基づき、大阪市イノベーション促進評議会（以下「評議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 評議会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、学識経験者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第4条 評議会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、評議会を代表し、議事その他の会務を総理する。

3 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(専門委員)

第5条 専門の事項を調査審議させるため必要があるときは、評議会に専門委員を置くことができる。

2 専門委員は、学識経験者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査審議が終了したときは、解嘱されるものとする。

(部会)

第6条 委員長が必要と認めるときは、評議会に部会を置くことができる。

2 部会は、委員長が指名する委員及び専門委員で組織する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員のうちから委員長が指名する。

(会議)

第7条 評議会の会議は、委員長が招集する。

2 評議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 評議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(関係者の出席)

第8条 評議会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第9条 評議会の庶務は、都市計画局において処理する。

(施行の細目)

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。